

スーダン。。内閣、現状を議論する「主権」を求める

8時間前。



ハルツーム:スーダンの内閣は木曜日、同国の現状を議論するために、それと主権理事会との間の緊急会合を呼びかけた。

声明の中で、理事会は先週のクーデター未遂を非難し、軍と正規軍が早期に試みを検出し、打ち負かしたと称賛した。

9月21日、スーダン軍は、退位したオマール・アル・バシル大統領の政権を支持する軍事要素によるクーデター未遂を阻止したと発表した。

理事会は声明の中で、過去の期間を透明性と明確さで評価し、革命の力を統一するためにより多くのことを行うことによって、移行期間を強化することの重要性を強調した。

軍と民間人のパートナーシップが強化され、移行のための制度が完成し、現状問題を議論するために内閣と主権の緊急会合が開催された。

「クーデターの試みは、関係者全員によって徹底的に調査され、裁判にかけられた」

クーデター未遂が阻止されたとの発表に対する政治勢力の軍指導者の批判により、暫定当局の軍と民間の構成要素の間で何日も緊張が高まっている。

木曜日、ハルツームは民主的な移行と国の革命の要求の完了を支持する人気の行進を目撃しました。

2019年8月21日以来、スーダンでは2024年初頭の選挙で53ヶ月間の移行期間を迎え、その間、10月3日に政府と和平合意に署名した軍、民間軍、武装運動が権力を分担している。

移行期間中、国は民間政府と14メンバーの主権評議会(大統領として)によって運営されています:5軍人、6人の民間人と3つの武装運動。

アナトリア。

キーワード

暫定主権理事会

主権理事会

スーダン

ハルツーム